

3 団体の代表者等から説明及び質疑

① 活動のきっかけ（会長）



写真は、「虹色の里横畠」を立ち上げるきっかけになった「ふるさと公園」です。昔ここは、こうこうと茂った藪で、地域の廃材を捨てるごみ箱のような場所でした。私は平成7年に42年ぶりにUターンしてきました。その明るる年に村入りをしようと4月1日に地域の花見に参加しました。しかし、その場所には桜の木はなく、公園らしきものもありませんでした。そこで、ここに憩いの場所を造りたいと

思い、この部落から一番目につく場所を選び、地主の方に協力をお願いし、土地を貸してもらい桜を植え始めました。すると、協力してくれる人がでてきて、ここに立派な公園ができました。その時に県からパイロット事業として指定を受け、平成14年の1年間、横畠の特徴を生かした、いろいろなやりたいことを網羅した一冊のノートを作り、それに従い活動していこうと立ち上げました。

この「虹色の里横畠」のネーミングは、研修旅行で徳島県上勝村に行く朝、すごくきれいな虹が出ていました。「これはきれいな虹だなあ」と、バスに乗って徳島街道を走っていると、何回も虹に遭遇しました。研修を終え、会で「名前をどうするか」となった時に、「研修の日に虹が何回も出てきて、印象に残っているから「虹」という文言を入れたい」ということから「虹色の里横畠」というネーミングにして15年の2月に会を立ち上げました。